



ハイライト:

2005年11月25日(金)

26日(土)29日(火)

埼玉県立大学 講堂他

IPE国際セミナー 05開催

(page2・3)



**専門職連携教育及び実践の地域における発展を目指して
～比企管内専門職連携推進会議が開催されました～**

平成18年3月23日に、比企福祉保健総合センターにて、第1回比企管内専門職連携推進会議が開催されました。この会議は、本学が平成21年度より正式実施する専門職連携教育プログラム「インタープロフェSSIONAL演習」への実施協力と、比企地域の専門職連携にかかる課題整理やその解決を図る母体組織として、埼玉県立大学と比企福祉保健総合センターが事務局となって組織化されたものです。

会議では本学教育と会議の位置づけについて説明を行った後、参加した方々による活発な議論が行われました。

地域で実際に援助に携わる方々に協力を得ながら行う専門職連携

教育は、日本においてはまだまだあまり例がなく、本学の試みもまだスタートしたばかりです。参加者からも、具体的な教育内容等や教育方法について質問が及びました。今後地域の皆さんと密接な意見交換をしながら、それらを構築していきたいと思います。

会議を構成する機関・団体は次のとおりです(順不同)。
社会福祉法人松仁会介護老人福祉施設東松山ホーム、医療法人宮崎病院介護老人保健施設みどりの社、医療法人埼玉成恵会病院成恵ケアセンター、小川赤十字病院、社会福祉法人昴、東松山市立病院、東松山医師会病院、医療法人啓仁会平成の森・川島病院、社会福祉法人東松山市社会福祉協議会ひがしまつやま市総合福祉エリア、医療法人緑光会精神障害者生活訓練施設友人館、東松山市健康福祉部、小川町保健センター、埼玉県社会福祉事業団嵐山郷、埼玉県比企福祉保健総合センター・東松山保健所、埼玉県立大学

なお、この会議は県内の保健福祉圏域ごとに順次設置を呼びかける予定です。



目次:

専門職連携教育及び実践の地域における発展を目指して	1
ウェブサイト“Saipe”(サイピー)がスタート!	1
IPE国際セミナー 05開催	2・3
GP実施部会活動報告	4

ウェブサイト“Saipe”(サイピー)がスタート!

このほど、連携統合プロジェクトのウェブサイト「Saipe」(サイピー)を開設、公開しました。このサイトは、「連携統合プロジェクト」の内容と、「連携と統合科目群」に関する情報を掲載し、学生や県内の関係機関の方々はもちろん、全国に情報発信するためのサイトです。

Saipeは、埼玉(SAitama)のインタープロフェSSIONAL教育(IPE)の発展を願い命名しました。ぜひご覧ください!!

ウェブサイト“Saipe”

<http://www.spu.ac.jp/saipe/>

埼玉県立大学IPE国際セミナー 05が開催されました

本学では、保健・医療・福祉それぞれに携わる専門職が、連携して利用者に統合的なサービスを提供する人材の養成を目的としたインタープロフェッショナル教育（IPE）を進めています。このIPEについての理解を深めるセミナー・ワークショップを4年間継続して開催します。

第1回目として、IPE分野で優れた実績をもつ「英国専門職連携教育推進センター・CAIPE」所長のバーバラ・クレイグさん、開発部長のヘレナ・ロウさんを迎えて、「英国の専門職連携教育の背景と現状について」を学ぶセミナーを開催しました。

保健医療福祉サービス改革とインタープロフェッショナル教育

英国の保健医療福祉サービスとIPW・IPE

第1日目

11月25日（金）13時30分～17時 講演
「英国における保健医療福祉サービスの改革と求められる多職種連携（IPW）」
バーバラ・クレイグ CAIPE所長
「英国における多職種連携教育（IPE）の進展」
ヘレナ・ロウ CAIPE開発部長
「我が国におけるIPEの取り組みと課題 埼玉県立大学の実践を例に」
大塚真理子 埼玉県立大学教授

1日目は、学内外から約500名が参加。CAIPEのクレイグさん、ロウさん、そして本学教員の大塚真理子からの講演があり、その後、関係機関の方々・卒業生などからさまざまな質疑応答や意見交換が行われました。

第2日目

11月26日（土）10時～16時 ワークショップ&セミナー
1. IPE理解のためのワークショップ
2. セミナー 「英国におけるIPEの実際」

2日目は、約70名がワークショップ形式で、IPEを実践していく上での具体的課題について議論されました。英国のお二人からの説明を受けて、IPEに対する理解と英国の理論および実践モデルについて学ぶ機会となり、参加者の好評を得ました。

第3日目

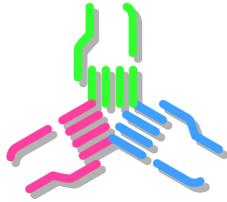
11月29日（火） 学内ワークショップ

3日目は、本学の教員20名が、英国からのお二人を講師に、IPEの推進役となるファシリテーター養成とそのワークショップを発展させるための課題について学びました。

協力支援
CAIPE（ケイブ）
「英国専門職連携
教育推進センター」

英国で、高等教育、生涯教育におけるIPEを推進するために、セミナー企画、情報提供、コンサルテーション等を行っている非営利団体。





講演の内容から

クレイグ CAIPE所長

英国の専門職連携教育に関わる法律及び政策の現状について話されました。

CAIPE設立の経緯、英国の国民保健サービスと社会サービス組織を紹介。保健及び社会ケアに変革をもたらすには近代化の取り組み、それには連携と協働が必要と述べられました。

英国では大学と地域の各種医療社会サービスや地方自治体が協力して専門職連携教育にとりくんでいる状況が伝えられました。

ロウ CAIPE開発部長

英国での専門職連携教育の新しい方向と発展として、保健及び社会サービス改革について話をされました。

「専門職であることは、専門職連携ができること」を強調され、英国の高等教育機関及び保健社会福祉ケアの実践の場で、専門職連携教育が大規模に発展していった歴史を具体的に紹介されました。

また、IPEの学習には、教員やファシリテータという人材を養成をする必要が述べられました。

埼玉県立大学 大塚真理子

我が国の少子高齢化に伴い、多様な問題を抱えるようになり、保健医療福祉の連携協働が不可欠となっていることを述べました。

各専門職教育課程においても、相互に学びあい理解しあう教育を進めるために、埼玉県立大学が行っている「連携と統合科目群」の取り組みや演習例を紹介し、その現状と今後の課題について話しました。

最後に、これからの日本型インタープロフェッショナル教育の創造の必要性を呼びかけました。

国際セミナー 05を開催して

I PW (Interprofessional work)

= インタープロフェッショナルワーク

複数の領域の専門職が、それぞれの技術と知識を提供しあい、相互に作用しつつ、共通の目標の達成を患者・利用者とともに目指す援助活動。

IPE (Interprofessional Education)

= インタープロフェッショナル教育

自律した専門職者としての役割を果たしながら、他の職種を理解・尊重・支援して、I PWを実践するための能力を育成することを目的とする専門職連携教育。

今回のセミナーには多くの学内外の方々の参加があり、全国の保健医療福祉系のIPEに関わる方々と直接交流を持つことができました。

今回のセミナーの成果として

英国のIPEと比較して、日本のIPEの課題について考えるきっかけとなった

IPEに先進的に取り組んでいる英国の具体的方法論を学ぶことができた

保健医療福祉従事者の方々に、本学のIPEの取組を知ってもらう機会となった

本学の学生が、自分たちの受けているIPEの先進性を自覚し、世界にも目を向けるようになった

本学教員を対象としたIPEに関するワークショップを開催し、異なる学科や領域を超えて交流し、連携と統合の教育のための基礎作りができた

ことなどがあげられます。

今後IPEを推進するにあたっては、地域の方々、現場の方々との連携、協力を得ることが必要です。英国等の実践に学びながら、日本の現状にあったIPEプログラムを研究・開発・実践していきたいと思っております。

今後同セミナーや研修会を企画・実施したいと思っております。より多くの方々の参加をお待ちしています。

今後の本学主催国際セミナーの予定

2006年 第2回 セミナー

「IPW / IPEを進める行政施策について」

2007年 第3回 セミナー

「現場の専門職のIPEへの参加について」

2008年 第4回 セミナー

「各国におけるIPEの取り組みについて」

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

下記の日程で、英国レスター大学エリザベス・アンダーソン氏らを迎えた講演会の開催が予定されています。

【5月27日(土)】

対象：埼玉県比企福祉保健総合センター管内関係者

テーマ：「IPEの展開に向けての地域と大学の協働の実際」

【5月29日(月)】

対象：埼玉県立大学教職員
テーマ：IPEの具体化に向けて

平成17年度埼玉県立大学 GP実施部会活動報告

GP実施部会は、平成17年度に文部科学省によって採択された特色GP・現代GPの取り組みを推進するために設置されたプロジェクト・チームです。

本学の専門職連携教育への協力と、地域の専門職連携実践を推進するために、専門職連携推進会議の設置と地域における研修事業を企画・実施しています。

県内の10の保健医療福祉圏域ごとに、本学と地域とのコミュニケーションの促進を図り、本学教育への協力を依頼し、また地域の専門職連携を通じたサービスの質向上を目指す「専門職連携推進会議」の設置に向けた取組を行っています。

平成17年度末には、比企地域で同会議の設置に向けた関係者への個別訪問・協力要請を行い、平成18年3月23日に「第1回比企管内専門職連携推進会議」を開催しました。また、5月27日(土)には第2回会議と、初めての研修事業を開催予定です。

今後は、9月に実施予定のインタープロフェッショナル演習(IP演習)試行事業の協力を依頼し、本学教員と現場職員の方々とで教育内容を検討していきます。

平成18年度は埼玉南地区や秩父地区などにて、専門職連携推進会議の設置へ向けて、関係機関に協力を要請していく予定です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

本学の特色GP・現代GPを広報し、また内外の先進的な教育実践を知るために、GPフォーラム等に参加しました。

- ・平成17年10月～11月、横浜・広島・京都「特色GPフォーラム」に、ポスター展示を行いました。
- ・平成18年1月 東京女子医大主催の「特色GP・現代GPフォーラム」に、ポスター展示を行いました。
- ・平成18年2月 京都大学「日英高等教育に関する協力プログラム 京都フォーラム2006」に参加しました。
- ・平成18年3月 東京ビックサイト「現代GPフォーラム」に参加しました。
- ・平成18年5月東京女子医大「アジアパシフィックPBL会議」にて、慈恵医科大学との共催でワークショップを開催予定。

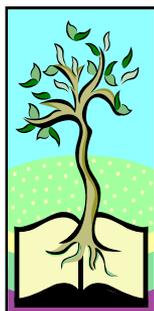
IP教育手法の開発のために英国大学などと交流しています。

平成17年11月には、第1回目のIPE国際セミナーを開催し、英国のIPW・IPEの状況から学びました。これを機に英国の大学等と交流を持つ大学もあるなど、IPEの取り組みの輪が広がっています。

また、平成18年3月には、レスター大学、コベントリー大学などを訪問し、それぞれのIPEのプログラムを視察。またCAIPEにも訪問し、第2回IPE国際セミナーの準備を進めています。

本学の専門職連携教育の取り組み内容や成果を、関係機関に紹介・還元していきます。

これまで試行的に取り組んできたIP演習の成果と今後の取り組みの方向性を、「平成17年度IP演習報告書」「IP演習の要綱」「連携と統合科目群の手引き」などにまとめ、関係機関に配布しています。また「国際セミナー 05報告書」などを作成し、取り組みの成果を地域へ還元しています。



連携統合プロジェクトのPRと、「連携と統合科目群」の教育活動に資するためのウェブサイトやNews Letter、パンフレットを発行しています。

「連携統合プロジェクト」のウェブサイトを公開し、「連携と統合科目群」に関する情報を学生・教員に伝えています。またNews Letterの創刊準備号及び第1号(本誌)を発行しました。

インタープロフェッショナル演習(IP演習)の教育コンテンツ開発

平成21年度に正式に実施する全学4年生対象のIP演習の実施に向け、現場の課題にあったテーマ、学習環境づくりについて検討しています。また平成18年秋に比企地域で試行的に演習を実施するために、関係者の協力を頂きながら準備を進めています。

専門職連携教育(IPE)の教育効果を検証

IPEの教育効果を評価するために、卒業生及び在学生在に調査を実施。今後長期的な評価研究を実施し、IPEの教育効果について検証します。

ウェブサイトSaipeにもご注目ください
<http://www.spu.ac.jp/saipe/>

埼玉県立大学 GP 実施部会

部会長 坂田悼教 (教育・研修センター長)
広報担当 朝日雅也 (社会福祉学科助教授)
新井利民 (社会福祉学科助手)
事務局スタッフ 野島、眞田、近藤



【編集後記】

創刊準備号から半年近くたち、ようやく第1号発行となりました。あっという間の半年間でしたが、こうしてみるといろいろな取り組みをしてきたなあと思います。

しかしそれぞれの事業に没頭すると、それらの経過や成果を皆さんにお知らせすることをおろそかにしてしまい、ひとりよがりになりがちです。そんな反省を胸に、平成18年度、新たなスタートです(と)。

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしています。

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地

電話/Fax 048(973)4199

Email: saitama-gp@spu.ac.jp